

第1学年郷土学実践事例

単元名

昔の遊び

単元目標

昔から伝わる遊びを地域の人に教わって、一緒に楽しく遊ぶ。

単元について

今の子どもたちは、家ではテレビゲームなどをして遊ぶことが多く、昔からの伝承遊びをする子は少ないようだ。しかし、保育園幼稚園で友だちと一緒に、また、お正月に家族とともに昔から伝わる遊びをした経験は少なからず持っている。

本単元では、そういう経験も生かしながら、さらに高月の地域で昔から伝えられている遊びを教えてもらうことにより昔の遊びを知り、昔の遊びのおもしろさや楽しさに気づかせていきたい。

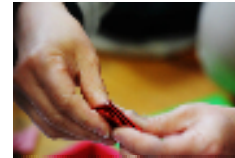
また、子どもたちが昔の遊びを休み時間にも自由にし、昔遊びが楽しめるように昔遊びの道具を子どもたちの身近に常に置いておくようにしたい。

単元計画

- ① 昔から伝わる遊びの計画を立てる。
- ② 昔から伝わる遊びを地域の人に教えてもらう。
- ③ 遊びが楽しくなるよう工夫する。

単元の流れ

通程	学習内容	学習活動	教師の支援・児童の様子
1	昔から伝わる遊びの計画を立てる。(1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みやお正月にした遊びについて話し合い、みんなで楽しく遊ぶ計画を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> *昔から伝わる遊びに目を向け、地域の人に教わる計画を立てる。
2	昔から伝わる遊びを地域の人に教えてもらう。(2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・昔から伝わる遊びを地域の人に教えてもらい、楽しく遊ぶ。 ・あやとり ・手まり ・ゴムとび ・折り紙 ・こままわし ・お手玉 ・おはじき 	<ul style="list-style-type: none"> *地域の人と積極的に関わりながら、遊びを楽しむことができるようにする。 *自分がしたい遊びを選んで教えてもらうようにする。
3	教えてもらった遊びが楽しくなるよう工夫する。(2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・教わった遊びがもっと楽しくなるように工夫して遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> *自分が教えてもらった遊びを今度は自分が先生になって友だちに教えてあげて遊ぶ。 *教えていただいた方にお礼の手紙を書く。



授業の観点

- ・昔から伝わる遊びをする楽しさに気づくことができる。
- ・地域の人と積極的に関わり、昔から伝わる遊びを楽しもうとしている。

子どもの変容・指導の成果

・子どもたちは講師の方に教えてもらってとても楽しそうだった。手まりやゴムとびは初めてする遊びだったので特に興味をもって取り組む子が多く見られた。

こままわしでは、ヒモの巻き方や回し方のコツを教えてもらいその時間の内にできるようになった子もいた。本人も嬉しそうであったが教えてくださった講師の方もとても喜んでくださった。この時間は子どもたちにとって充実した時間であった。

・次の時間からは教えてもらった遊びを自分が先生になり友だちに教えることにしたが、はりきって上手に教える姿が見られどの子も遊びを楽しむことができた。休み時間もこままわしやあやとりなどで遊ぶ子が増えた。

課題

・子どもの人数に比べ講師の方の人数が少なく教えていただくのが大変だったので、もう少したくさんの方にお問い合わせすればよかった。時間や人数の関係で、1つの遊びしか教えてもらうことができなかったのも、ローテーションにしているいろいろな遊びを教えられるように工夫する必要があった。竹馬など外での遊びも取り入れられるとよかった。

外部講師・地域連携

- ・学校支援ボランティアの人